

コメントテンプレート

日付: 2023/10/27	規格番号: C5930-3	プロジェクト:
----------------	---------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 哲郎 1	39, 156, 165, 169, 178,	表題、3.1, 3.2, 3.3, 3.4		ed	「シングルモード光ファイバピッグテール形」という用語に対して、39 行では「Non-connectorized single-mode fiber optic」と英語表記しているが、156 行、165 行、169 行、178 行では「single-mode fiber-pigtailed」と英語表記している。どちらか一方に統一すべきと思われる。	どちらか一方に統一する。	39行の「Non-connectorized single-mode fiber optic」を「single-mode fiber-pigtailed optical」に変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
諏訪 1	58 -59	1		ge	“この規格は、性能テンプレート、性能規格、信頼性認定要求事項、ハードウェア及びソフトウェアのインターフェース及び関連する試験方法を規定する。”と記載されているが、関連する試験方法はどこに規定されているのか？		この規格は通則のため、「性能テンプレート、性能規格、信頼性認定要求事項、ハードウェア及びソフトウェアのインターフェース及び関連する試験方法を規定する。」は、IEC 62343規格群又はIEC 62343規格群に対応するJISを引用する、又は適切なIEC規格又はJISを引用することを意図しています。試験方法は、4.3 試験に参照する試験方法を規定していません。
渋谷 隆 1	202	3.6.1		ed	“光チャンネルモニタが送信している”は適切な表現でない。	“光チャンネルモニタが報告する”に変更する。	修正案の通り変更します。
石井 1	374	3.7.5	図 1	te	「最小中心波長」、「最大中心波長」の意味が不明確な気がします。	<u>最小波長範囲時の中心波長？最大波長範囲時の中心波長？</u>	「最小中心波長」、「最大中心波長」を、それぞれ次のとおりに修正いたします。  「最小帯域幅の中心波長」 「最大帯域幅の中心波長」
渋谷 隆 2	375 416 433	3.7.5 3.7.8 3.7.10	図 1 図 2 図 3	ed	図の字がかすれている。	字のかすれを直す。	審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
渋谷 隆 3	382	3.7.6		ed	$P_{ref}$ は信号とは限らない。	“受信された“を”受光された”に変更する。	修正案の通り変更します。
渋谷 隆 4	387 406	3.7.7 3.7.8		ed	“チャンネル”が正しいのでは。	“チャンネル（波長）”に変更する。	修正案の通り変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023/10/27	規格番号: C62343	プロジェクト:
----------------	--------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 5	514	3.7.22		ed	略語”RMS”の定義が記述されていない。	“RMS（二乗平均平方根）”に変更する。	修正案の通り変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	189			ed	SLD,SLED → SLD, SLED (半角スペースを入れた方が良いのでは?)		半角カンマ“,”を、全角カンマ“，”に修正します。
山田 2	205			ed	$\lambda_k$ → $k$ が斜体のような気がする。正体に変更すべきなのは?また、本文書全体で同様な記載となっています。他にもご検討下さい。		量記号ゆえ、添字も斜体にしています。対応国際規格も同様ですので、このままといたします。
渋谷 隆 1	241	4.2		ed	対応国際規格は“shall be less than half”である。	“半分以下でなければならない”を“半分未満でなければならない”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 2	267 279	4.3 4.4	図 1 表 1	ed	図がかすれている。	図のかすれを修正する。	審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
山田 3	267		図 1~10, 表 1	ed	不鮮明のような気がします		審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
諏訪 1	279	4.4	表 1	ed	供試品 (DUT) の図がわかりづらい。これは PDF にしたため見にくいためと思いますが、念のため Word 文書の確認をお願いします。		審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
藤井 哲郎 1	279		表 1	ed	8 個の図面全てがかすれており、読み取れない。	明瞭な図面に差し替え	審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
渋谷 隆 15	296	4.5		ed	「システムバックグラウンド」の他に、単なる「バックグラウンド」の用語が用いられている。	システムバックグラウンドに統一する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 3	321	5.2.1		ed	対応国際規格には“初期値からの変動が”の記載がない。	点線下線を付与する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 4	339	5.3		ed	対応国際規格は“is less than 5 %.”である。	“5 %以下である。”を、“5 %未満である。”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 5	344	5.3		ed	対応国際規格は“shall be greater than”である。	“2倍以上としなければならない。”を、“2倍を超えなければならない。”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷	357	5.4.1		ed	対応国際規格は“An example of such specification	“このような仕様の配置例は、中心波長から 0.1	ご指摘通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
隆 6					could be -20 dB at 0,1 nm away from the centre wavelength.”である。	nm 離れたところで-20 dB 以下とする。”を、“このような仕様の配置例は、中心波長から 0.1 nm 離れたところで-20 dBとなる。”に変更する。	
渋谷 隆 7	361 371	5.4.1 5.4.2		ed	対応国際規格は“shall be less than”である。	“所望の偏光依存性未満である。”を、“所望の偏光依存性未満としなければならない。”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 8	389	5.6		ed	対応国際規格は“shall be 15 dB greater than”である。	“15 dB 以上大きくなければならない。”を“15 dBを超えて大きくなければならない。”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 14	426 466	6.1.1.2 6.1.2.3	図 2 図 5	ed	リファレンス測定と基準測定とが混在している。	基準測定に統一する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 9	441	6.1.2.1	表 6	ed	6.1.2.5 には step 4 が記載されており step 4a 及び step 4b に分けていない。	表6の4a及び4bに注 <sup>a</sup> を付与し表6の脚注に“注 <sup>a</sup> 手順4を手順4a及び手順4bに分けた。6.1.2.5参照。”を記載する。	ご指摘通り修正します。
藤井 哲郎 2	450 465 508, 509 529		図 4 b) 図 5 b) 図 8 図 9	ed	図面がかすれており、読み取れない	明瞭な図面に差し替え	審議資料作成時の問題で、オリジナルファイルで問題ないことを確認しました。
渋谷 隆 10	487	6.1.2.5		ed	対応国際規格は“more than 15 dB larger than”である。	“15 dB 以上大きい場合にも”を“15 dB を超えて大きい場合にも”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 11	508 527	6.2.1 6.3.1		ed	対応国際規格は“to < 5 %.”である。	“5 %以下に減少させるために”を“5 %未満に減少させるために”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 12	647	C		ed	対応国際規格は“should be more than 15 dB”である。	“15 dB 以上大きくなること”を“15 dBを超えて大きくなること”に変更する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 13	647	C		ed	附属書 C は参考であるが、対応国際規格は“should be more than 15 dB”と推奨が含まれてい	“一般に、不確かさを 0.1 dB 未満に保つには、全ての終端の反射減衰量の合計が、対象の DUT の	ご指摘通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023/10/27	規格番号: C61300-3-7	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					る。	測定に対して相対的に 15 dB 以上大きくなるようにすることが望ましい。”を、“不確かさを 0.1 dB 未満に保つには、全ての終端の反射減衰量の合計が、対象の DUT の測定に対して相対的に 15 dB を超えて大きくなるようにすることが一般的である。”に変更する。	

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。